



時を守り、場を清め、礼を正す

みなさんは、「時を守り、場を清め、礼を正す」という言葉を聞いたことがありますか。学校や会社などで、よく掲示されています。この言葉には、みなさんが日々の家庭・学校生活を送るうえで、大切にしなければならないことが、端的に入っています。

- ・ 時を守り・・・ □朝、□授業、□部活の開始時刻を守り、遅刻をしない。
- ・ 場を清め・・・ □15分間の掃除に黙って取り組む。□身の回りを整頓し、ゴミを落とさない。
- ・ 礼を正す・・・ □朝、□授業前後、□帰りのあいさつをする。□頭髪や服装を整える。
□時と場所を考えて、適切な言葉づかいをする。

さて、みなさんは、何個できているでしょうか。できている事には「□」に「レ」の印を付けてください。ちょうど10個ありますが、10個全部に「レ」の印が付くことが目標です。中学校は、社会に出て行くために最低限身に付けておかなければならない学力と生活習慣（態度）を養う場所です。よく、「元気だから声を出すのではない。声を出すから元気になる」と言われますが、これらの10項目は、こうすることによって、みなさんの家庭・学校生活が、より楽しく、よりよいものになるのです。即、実行してください。

リーダーは草むしりをさせて決める

池田高校（徳島県）に薦文也（つたふみや）監督という高校野球の名監督がいました。田舎の公立高校を率いて甲子園夏春連続優勝を果たすなど、高校野球の歴史に黄金時代を築き上げた人で、野球の指導よりも人間の育成に重点を置いて指導したと言われ、多くの名言を残しています。

- ◆ 負けることは不名誉なことではない。負けることによって人間がダメになったり、やる気がなくなったりするなら、その方が不名誉だ。失敗したらそれを踏み台にしてまた出直せばいい。
- ◆ 勝負は「一瞬の行」、鍛錬は「千日の行」。勝負はアツという間に決着がつく。この一瞬の行を求めて、苦しい鍛錬に耐えることの尊さを身につけよ。
- ◆ 技術だけでは勝てない。精神力がなければ大切な場面で踏ん張ることができない。人生も同じだ。精神を鍛えてないと、勝利の喜びを味わえないまま、一生を終えることになりかねない。
- ◆ 高校時代は、東大や甲子園に行くことよりももっと大事なことがある。この時期は、人間の基礎を作る大事な時期なのだ。だから、勉強一筋に東大に入ったやつは、東大を卒業してから人間の勉強をせないかん。それだけ時間がかかるんや。
- ◆ 「する勇氣」と「しない勇氣」を持て。野球にもルールがあるように、学校や社会にもルールがある。それらを守ったうえで「する勇氣」を大いに発揮せよ。
また、薦監督は、次のような文章も残しています。

高校野球のチームは、リーダーさえしっかりしていればある程度のところまでいく。監督がゴチャゴチャ言わなくても、リーダーを中心に、生徒たちが何でも自主的にやるようになる。生徒たちを管理せず、のびのびとやらせるためにも、リーダーの人は大事だと考えている。

では、そのリーダーをどう選ぶか。それは、草むしりをさせて決めるのである。野球部に入ってくる子なら誰でも野球の練習は熱心にやる。しかし、野球とは直接関係のない草むしりとなると、ガラッと性格が丸だしになってくる。一生懸命草むしりをする子とそうでない子がいる。こういう雑用にも力を入れてやる子は、どんな苦しい練習でも辛抱できる子だ。野球の基本とはつまらないことの積み重ねだが、草むしりにも力を入れる子はやはり野球でもよく伸びる。（中略）

しつけができていない子に野球をやらせても、ロクなことにはならない。勉強だって同じだ。勉強だけでできても、それ以外のことは何一つできない子ははっきり言って鈍感だ。だから、学生時代はよくても、社会に出た時、本人が苦勞する。たとえば、墓参りに行った時、言われなくても進んで草むしりをするような子なら、周囲の人から認められる人間になることは間違いない。